

震災ボランティア派遣 FAX通信⑩

2011年5月24日



各組合・地域労連

御中

青森県労働組合総連合

青森市大野字若宮165-19

TEL 017-762-6234、FAX 017-729-2186

メール ao110@kenrouren.jp

【発信者】事務局長 有馬美恵

24才青年を石巻へボランティア派遣！

谷崎宇俊（たかとし）さん（県労連書記局推薦）には、岩手の受け入れ先が満杯だったため、急ぎよ宮城・石巻へ行っていました。感想文をご紹介します。

19日。今日からいよいよボランティアの始まりである。私一人が行って何か助けになるのか？でも何かできることは必ずある！と気合いを入れ、青森から出発した。青森から電車で東塩釜まで行き、目的地の石巻市まではバスで行った。運行していない電車の代わりにの代行バスである。1時間程待ち、乗り込んだら超満員。ぎゅうぎゅう詰めで約1時間耐えねばならなかった。今まで電車を使っていた付近の住民はとても不便だろう。毎日あのバスを使うなんて僕には耐えられない。

到着した石巻駅ではだいぶ活気を取り戻していた。近くのお店は営業していたし、たくさんの高校生が道際にたむろしては楽しそうに談話していた。ここら一带は被害なかったのかなあ？と思い、すぐ近くのこれから寝泊まりするボランティアセンターまで市バスを使って向かった。少し駅を離れると景色は一変する。家屋は壊滅してはいないものの、家まわりは泥だらけ、店は窓ガラスが割れ、中はすっからかんでほとんど閉まっている。住民の方が、これでも相当綺麗にしたのだと説明してくれた。被害直後はこんなものではなかったと。

ボランティアセンターには無事到着、部屋は13畳くらいの広さだった。そこに12人の男達が寝袋で寝ることになる。ボランティアに来た人達は、年齢も職業もバラバラで、色んな人達がいた。71歳の方も参加していたので、正直驚いた。ほとんどの方が仕事の休みの合間をぬって来ているそう。皆それぞれの思いを抱えてボランティアしに来たのだと知って、胸が熱くなった。明日は頑張るぞ！と心に決め、早めに就寝した。



現地で出会ったボランティア仲間と（右が谷崎さん）



13畳の部屋に12人が寝袋で・・・

ボランティア初日、朝8時50分に全員集合して、二班に分かれた。この日の私たちの班の作業は、個人のお宅の裏の庭と側溝掃除だった。とにかく泥とゴミの散乱がひどくて、それらを全て捨てなければならなかった。シャベルで泥をかき分けると、たくさんの生活用品が泥にまみれて出てきた。雑誌、タオル、写真、おもちゃ。全て泥で変形し、無残な姿になっていた。津波は今まで生活していた痕跡なども全て飲み込んで泥まみれにしてしまったのだ。作業は3時で終了した。まだ完全に終わっていないが、毎日3時頃には終了しているとのことだった。終わった頃には汗だくで、Tシャツは汗でびしょりだった。

少し時間があつたので、付近の家を探索すると、ほとんどの家の一階部分は泥だらけでとても人が住める場所ではなかった。臭いもきつい。話を聞くと、この付近は水が2メートル50センチ程まで上がってきたのだという。家の壁にはその跡がくっきり残っていた。

この日の帰り、被害が特にひどかった日和山公園付近に行くという事で、何気ない気持ちで車に乗り込んだ。今日の作業場所付近を見たことで、もうだいぶ石巻市は復興してきているのだと感じていた。だが日和山公園付近に到着した時、絶句した。この世のものとは思えない光景が果てしなく続いていた。言葉では言い表せない。元はそこに家があり、人が住んでいたとはどうしても想像できなかつた。家は全壊し、車はそこら中に突き刺さり、全く手つかずのただの瓦礫の山だけが広がっていた。

案内してくれた方が、その瓦礫の山にはまだたくさん死体がいると言っていた。失礼な話かもしれないが、僕はこの地に来るまで、どこか実感がなかつた。TVで見る被害地域の映像も心のどこかでは他人事のように感じていた。何かしたいと思い被災地に来たが、本当の被害のひどさを何も知らなかつたのだ。ここに来て、やっと感じた。こんなにも被害はひどく、地震と津波はこんなにも無慈悲でこんなにも残酷なのだ。



今日会った人達は、この震災を経験し、それでも明るく笑って話してくれた。私達の帰り際にはなんども頭を下げ、ありがとうと何回もお礼を言っていた。僕は、そんな人達から差し入れをもらい、そのくせ本当は何も知らないで作業をしていた自分にとっても腹が立ち、被災者の方々に申し訳なくて、泣きそうになった。

ここを復興するには後何年もかかると思う。そして完全に復興する日は来るのだろうか・・・そう思わせる程、絶望的な光景がただただ広がっていた。その夜は疲れていたのと、衝撃を受けたこともあり、夜9時には就寝した。

～ボランティア二日目からの感想は次号につづく～